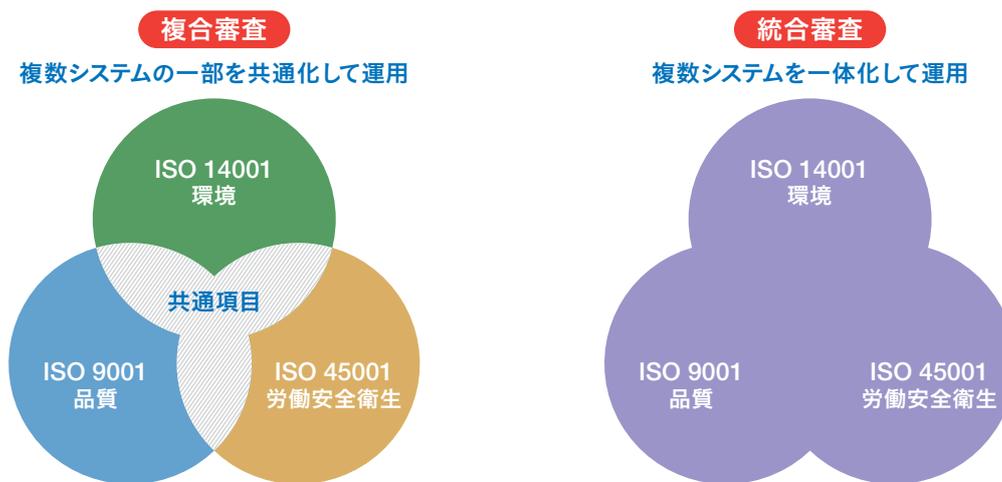


# 複合/統合審査

## 複合/統合システムの必要性

組織の事業活動にはいろいろな観点からのマネジメントシステム(品質、環境、労働安全衛生、情報セキュリティなど)が必要です。複数のマネジメントシステムを運用されているケースでは、システムの共通化をはかることで効率よく運用することが可能になります。これに対応して、複合審査では通常複数のマネジメントシステム資格を持った審査員が運用状況を同時に審査します。さらに、複数システムの統合性が高く、一体のシステムとして運用されているケースでは、その統合レベルを評価し、効率性を高めた統合審査として実施します。



## 期待される効果

### 1. 審査に伴う人的・経済的負担の軽減

- 審査の準備や対応の負担の軽減

個々の審査への対応には大きな負担を要します。各システムまとめて同時に審査することで審査準備や対応等に伴う負担が軽減できます。

- 審査人数(工数)・審査回数を軽減

同時に複数システムを審査することにより、審査日程・審査回数が削減できます。これにより認証費用並びに維持費が削減できます。

### 2. 経営に役立つマネジメントシステムの構築

- 効率的な運用管理

マネジメントシステム規格はPDCA(Plan-Do-Check-Act)サイクルを使用することを要求しています。各規格の類似した要求事項を共通化し、文書や記録をはじめ、運用管理そのもののシステムを統合することで、ISOマネジメントシステムを経営改善のためのツールとして効率よく運用することができます。

- 相乗効果の発揮

複数のマネジメントシステムを共通化して経営との一体化を目指すことで、経営や業務に対して課題を見出すことが可能となります。併せて審査を通じたシステムの統合、簡素化、効率化へのアプローチとなります。共通化によるこれらの「相乗効果」は、経営上の大きなメリットとなります。